

未来

郵政産業ユニオン
PIWU

全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4432
24年3月22日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

長崎中央局の移転先決定？

おはようございます。
24春闘で郵政ユニオンが非正規社員の賃上げゼロ回答に抗議して全国でストライキを敢行した3月15日、長崎の郵便局で働く社員にとって大きなニュースがアップされました。

それは「長崎中央局の移転先決定」というニュース。建設工事や入札情報などを扱う業界新聞の「(株)建設新聞社」のホームページに「長崎中央局が長崎駅周辺の整備区画地内へ移転決定」と掲載がありました。

1970年6月に開業した長崎中央郵便局は開局から53年を超え老朽化の弊害が目立っています。また敷地及び局舎の一部が道路拡張事業の計画範囲に含まれおり、この都市計画道路事業について長崎市は29年度完成を目指すとしています。

これらの状況を踏まえれば長中局の移転は近いと考えられています。しかし長中局は「移転計画の説明を求めると」というユニオンの要求に対して2月28日「現時点で開示できる情報はない」と回答しています。それにもかかわらず直後に部外から「移転先が決定した」との情報が入りました。長中局には、早期に組合及び社員に対して「移転計画」を説明することを求めます。

さてここからは移転先が業界紙の場所だったというところで考えます。

移転先とされる場所は、八千代町電停交差点から北局方面に300メートルほど行った、現在は尾上町6街区1画地と呼ばれている整備区画地の一角で、今月中にも移転先用地の売買契約がなされるとあります。

八千代町電停交差点から浦上川沿いの通りを結ぶ都市計画道路長崎駅中央線(道路)に面している(左地図を参照)、JAFと長崎警察署の間です。駅の北隣にも見えますが、敷地と駅の間にはJR九州の施設があるため、車両は八千代町か長崎警察署側からしか出入りできません。

移転先とされる場所
移転先は長崎駅(東口)

新局舎などの大きさ
土地面積は現在の長中局と同じ位ですが、三角



形に近く、中央線通りに面している部分の長さは約45メートル、奥行き約100メートルですが、奥(長崎駅方向)に行くほど狭くなり、最奥部分は20メートルほどです。



現在の局舎は駐車場があるため敷地の半分ほどの大きさですが、新局舎は北局みたいな敷地面積いっぱい建物で、立ち退き期限が迫っていることを考えると工期の伸びる地下駐車スペースなしの地上6階建てほどの建物になると思われます。この場合、延べ床面積は約1.7倍(5階建てだと約1.5倍、7階建てだと約2倍)に広がります。

懸念

市内中心部方面へ集配作業に出る際の順路も懸念材料です。安全のため中央線(通り)へは左折進入のみ、また駅西口前の通り(駅と出島メッセの間)も通行させないと思われるので、長崎警察署横の浦上川沿いの通りまで出なければなりません。出島メッセ横から左折し旭大橋東口交差点に出るか、夢彩都前を左折し大波止交差点から中心部に向かうことが予想されます。交通量が多いこと、信号機の時間が短いことから配達エリアの場所によっては従来より5分程度は余分にかかることが予想されます。

疑問

移転先予定地の周辺には交通広場前(地図内①)や県営バス車庫向い(同②)の更地があります。なぜ新幹線とJR在来線の高架に挟まれているため大通りからは見えにくく、狭く形の悪い場所に移転するのか疑問です。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を全員の正社員化を。ゆれば、均等待遇、なんの差別も。ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ！

